

札幌トレセン大会報告書

2017. 11. 29

(一社)札幌地区サッカー協会 4種技術委員会 (大畑 亮太)

1、大会名・日程

ヴァン+秋季交流大会U-10 2017年11月25日~26日

本栖湖スポーツセンター

2、参加選手()内は所属チーム

石田 凌聖(LIV) 穂積 那希人(石狩FC) 秋 陽凧、宮田 岳來、松井 應典、萩野 煌也(SSS札幌)
中條 駿(L-WAVE) 玉懸 悠翔(札幌Jr) 中村 琉生、西柳 学、牧野 岳、高橋 拓仁、高野 空、
櫻庭 一斗、荒井 清大朗、高山 空大(北海道コンサドーレ札幌)

3、引率者名

大畑 亮太(石狩FC) 櫻井 健愛(SSS札幌) 浅沼 達也(北海道コンサドーレ札幌)

4、大会結果

【25日】

v s ヴァンフォーレ甲府	●1対2	得点：櫻庭
v s レジスタ	○3対0	得点：荒井、牧野、中村
v s ファナティコス	○3対1	得点：牧野、中村、萩野
v s 山梨県トレセン	●0対6	
v s 川崎フロンターレ	●0対4	
v s 横浜マリノス	●1対4	得点：中村
v s 清水エスパルス	●2対4	得点：中村、穂積
v s ヴァンフォーレ甲府	●2対5	得点：OG、高橋

【26日】

v s 横浜マリノス	●1対5	得点：中村
v s 栃木SC	○3対1	得点：中村、穂積、高橋
v s レジスタ	○4対3	得点：中村2、松井、穂積
v s ヴァンフォーレ甲府	●1対2	得点：穂積

5、成果と課題

成果

- ・チーム全体での守備。人とスペースを意識し、ポジションのバランスをとることが出来てきた。
- ・攻撃時のポジショニング。チーム全体のバランスをとることを意識できるようになった。
- ・ボール際の強い守備に対しても逃げずに戦うことが出来てきた。

課題

- ・ボールのところの守備。ボールを奪える、相手が嫌がる距離まで寄せた際に、剥がされたり、抜かれたり、対応しようとする距離をあけてしまい、全体が深くなってしまった。
- ・攻撃時に縦に急ぐ傾向があり、全体を押し上げて関わる時間を作ることが出来なかった。
- ・攻撃時に全体が関わろうとしてきたが、ボール保持者が味方や相手の状況を観えていないことや技術が低く観えていてもプレーが出来ないことが多いため、関わろうとしている味方が無駄になることが多かった。

☆ピッチの外でも、自分のことを自分ですることができなく、選手として以外の部分を、もっと見ていく必要があると感じました。